

仕事や勉学に励める教育環境の整備を！

田中守議員

- (1) ①今夏、市役所庁舎南側に設置したグリーンカーテンの効果とその評価は。
- ②学校校舎の壁面にグリーンカーテンを設置し、教室内の暑さ対策や環境教育に結び付けるグリーンスクール事業の取り組みを実施してはどうか。
- (2) 学校問題解決のための体制づくりについて

文科省の発表によると

市長(1) ①夏場の快晴の日にはネットの表と裏の温度差がおよそ5度あり、冷房の運転時間を約1時間ほど短縮できた。また、アンケート調査では、77%が涼しくなった、涼しく感じられたと答えており、省エネと職場環境の改善が図られ、効果は十分にあったと考えている。また、市民の方々からも非常に好印象で、称賛の声をいただき、テレビ局の取材放映などもあったことからエコ対策のアピールの効果も十分あったと思われる。今後も引き続き取り組んでいきたい。

全国の小中高校での学校内外の暴力行為は、平成20年度約6万件発生し、精神疾患で休職した教員は約5,000人と年々増加している

増加しているとの状況はどうか。市の状況はどうなっているか。子どもたちの教育環境を守り、教員が本来の業務に専念できるように教員や保護者からの相談窓口を設置できないか。

教育長(1) ②学級単位での自主活動としてはかなりの学校で行っている

しかし、これを学校全体で行うとなると日常の管理、夏休み期間中の管理などが問題になってくる。環境教育は大事であるので、学級での取り組みの輪を広げることができないか学校とも相談してみたい。

教育長(2) 本市における教員の精神疾患等による休職者数は、平成19年度1名、20年度2名、本年度3名である

管理職の希望降任者は過去3年間ではないという状況である。県の教育委員会で、全市

町の教員のメンタルヘルスについての相談窓口を実施しており、随時、相談を受け付けるという方法で対応している。教育現場での問題は、なかなか答えが出せないもの、心情的な部分が大いなもの、因果関係を明確にできないものなどがある。また、一つ解決したからすべて解決するとは限らない。教育委員会にも相談があるが、心情的な問題は解決しないことが多い。重要であるのは日頃の信頼関係をどう構築しておくかである。このような中、学校支援会議や学校運営協議会など、学校でハブ化を図っていき、また、学校自身の問題解決能力を向上させていくことも必要であると考えており、そのような指導を行っていききたい。

(その他の質問事項)

市のホームページに「地域の困りごと」コーナーを設け、NHKの「近所の底力」などにリンクできないか



**通学バス助成と安全な通学路の確保を！
観光のあり方と市の関わりについて**

中瀬議員

- (1) 三浦地区の通学バスの助成を通学距離で切るの学校統合時の条件をないがしろにするものであり、早急に改善すべきである。また、三浦の県道は真暗で小学校の部活の帰りを考えると防犯灯、街路灯の整備が必要である。
- (2) 観光行政について

①民間の観光施設の見学マナーが悪い。市やコンベンション協会が関わった見学には配慮が必要ではないか。また、施設開放の依頼連絡だけでなく、着いた時と帰る時には一

教育長(1) 通学距離が3km以上、4km未満の小学生、5km以上、6km未満の中学生に対する通学費補助については、平成17年度から段階的に削減し、本年度廃止した。しかし、最近、声かけ事案などが発生したこともあり、防犯対策、交通安全、環境教育、保護者の負担削減などを再検討し、平成22年度から現行の一部を見直す方向で作業を進めている。

教育長(2) ①市が窓口となっている場合は、施設へ連絡するとともに同行して対応している。観光客のモラルの問題については非常に残念であり、遺憾である。

市長(2) ②ラベンダーには関心を持っている。今後大村花いっぱいプランを官民一体となって進めていく。
商工観光部長(2) ③海の駅は民間が経営する施設で、

言くらしい挨拶は必要である。

②新幹線の客を大村に降ろすには仕掛けが必要である。天然記念物大村桜を市役所前に植樹したり、例えば新築の家には桜を植樹してもらうという条例を制定すればすぐに桜いっぱいになる。また、長崎ラベンダーも活用次第で観光客を呼べる。桜、葛浦、長崎ラベンダーなどを上手に生かした施策が展開できないか。

③大村湾の特徴を生かした海の駅の実現に市も最大限の支援とPRを。

(その他の質問事項)

- ・指定管理者制度について
- ・地場産業について
- ・職員のタバコタイムについて
- ・高齢者中心の中心市街地について
- ・墓地の認可について
- ・3人乗自転車、電動自転車について
- ・福重地区ほかの遺跡史跡再調査について

